

2018年10月19日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

- 商品名（総称）； *E.coli* O157-F / O26-F / O111-F「生研」

抽出試薬 1 5mL×1本

- 会社名；デンカ生研株式会社  
住所 新潟県五泉市木越字鏡田 1359 番地 1  
担当部門 信頼性保証本部 品質保証部  
電話番号 0250-43-4136 ファックス番号 0250-43-3789  
緊急連絡番号 0250-43-4136
- 商品番号，内容及び包装；文末商品一覧参照
- 用途；食品関連試薬
- SDS 整理番号；230614(2/4)-07

### 2. 危険有害性の要約

- GHS 分類；  
物理化学的危険性：分類できない  
健康に対する有害性：皮膚腐食性・刺激性 区分 1A  
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 区分 1  
環境に対する有害性：区分外
- GHS ラベル要素；  
絵表示：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

注意書き：

#### 【安全対策】

粉じんまたはミストを吸入しないこと。

取扱い後は顔や手など，ばく露した皮膚をよく洗うこと。

保護手袋，保護衣，保護眼鏡，保護面を着用すること。

#### 【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚または髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再利用する場合には洗濯すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合，皮膚に付着した場合，吸入した場合，眼に入った場合は，直ちに医師に連絡すること。

【保管】 施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物、容器を関連法規並びに都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に委託すること。

- ・他の危険有害性；情報なし。

### 3. 組成及び成分情報

- ・化学物質・混合物の区別；混合物
- ・成分及び含量；

成分	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.	含量 (%)
酢酸	(2)-688	64-19-7	11 w/w%

### 4. 応急措置

- ・吸入した場合；空気の新鮮な場所に移動し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師の診断，手当てを受けること。
- ・皮膚に付着した場合；すぐに多量の水と石鹼でやさしく洗うこと。  
直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと，取り除くこと。皮膚を流水，シャワーで洗うこと。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
直ちに医師の診断を受けること。
- ・眼に入った場合；水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗眼の際，まぶたを指でよく開いて，眼球，まぶたの隅々まで水がよくいきわたるように洗浄する。直ちに医師の診断を受けること。
- ・飲み込んだ場合；水で口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断を受けること。
- ・予想される急性症状及び遅発性症状；  
皮膚：痛み，発赤，水疱，皮膚熱傷  
眼：発赤，痛み，重度の熱傷，視力喪失
- ・応急措置をする者の保護；個人用の保護具を着用すること。
- ・医師に対する特別注意事項；情報なし。

### 5. 火災時の措置

- ・消火剤；水噴霧，泡消火剤，粉末消化剤，乾燥砂類
- ・使ってはならない消火剤；情報なし。
- ・特有の危険有害性；  
火災時に刺激性，腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- ・特有の消火方法；  
消火活動は風上から行う。  
安全な距離または安全な場所から消火作業を行う。  
ガス，蒸気，ヒューム，煙を吸入しないよう風上から消火作業を行う。  
消火のための放水等により，環境に影響を及ぼす物質が流入しないよう適切な措置を行う。  
危険でなければ火災区域から本品を移動する。
- ・消火を行う者の保護；  
消火作業では，適切な保護具(防護服(耐熱性)，手袋，眼鏡，マスク等)を着用する。
- ・その他の情報；情報なし。

### 6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置；  
密閉された場所の場合，立ち入る前に換気する。屋内の場合，処理が終わるまで十分に換気

を行う。関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には、適切な保護具を着用し、皮膚、眼への接触や吸入を避ける。

- ・環境に対する注意事項；漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された廃水が適切に処理されず環境へ排出しないよう注意する。
- ・封じ込め及び浄化方法及び機材；  
吸着剤(乾燥砂，土等可燃性でないもの)に吸着させ，取り除いた後，水でよく拭き取る。  
密閉できる容器に回収し，後で廃棄処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い；  
技術的対策：本安全データシートの8項に記載されている適切な保護具を着用する。  
取扱い場所の近くに、洗眼のための設備を設置する。  
安全取扱注意事項：眼，皮膚，又は衣類につけないこと。  
取扱い後の休憩時には，手をよく洗うこと。  
みだりにミストが発生しないように取り扱う。  
休憩場所には，手袋等の汚染された保護具を持ち込まないこと。  
汚染された衣類は，速やかに脱ぐこと。  
接触回避：酸化剤，塩基
- ・保管；安全な保管条件：遮光して2～10℃に保存する。  
凍結させないこと。  
安全な容器包装材料：本品に使用されている容器にて保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- ・管理濃度；設定なし。
- ・許容濃度（ばく露限界値，生物学的ばく露指標）；  
<酢酸> 日本産衛学会 10ppm, 25mg/m<sup>3</sup> (2009年版)  
ACGIH TWA 10ppm STEL 15ppm (2009年版)
- ・設備対策；本品を扱う作業場には，洗眼器，安全シャワー，全体換気装置，局所排気装置を設置すること。
- ・保護具；呼吸器の保護具：適切なマスクを着用する。  
手の保護具：適切な保護手袋を着用する。  
眼の保護具：適切な保護眼鏡を着用する。  
皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用する。
- ・衛生対策；本品を使用する時に，飲食または喫煙をしないこと。  
保護具は保護具点検表等により定期的に点検すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

- ・物理的状态；形状，液体  
色，無色透明
- ・臭い；刺激臭
- ・pH；データなし。
- ・他の物理的及び化学的性質；データなし。

## 10. 安定性及び反応性

- ・反応性；情報なし。
- ・化学的安定性；遮光して2～10℃の保管条件で安定。
- ・危険有害反応可能性；  
通常の条件では危険有害反応は起こらない。

本品中の成分<酢酸>は、酸化剤、塩基と激しく反応するおそれがある。多くの金属を侵して水素を生じるおそれがある。

- ・避けるべき条件；熱，炎，その他点火源，高温，直射日光，衝撃，振動，凍結
- ・混触危険物質；酸化剤，塩基
- ・危険有害な分解生成物；成分<酢酸> 水素

### 1 1. 有害性情報

- ・急性毒性
  - 経口(LD<sub>50</sub>)；データなし。
  - 経皮(LD<sub>50</sub>)；データなし。
  - 吸入(LC<sub>50</sub>)；データなし。
- ・皮膚腐食性及び刺激性(動物データ)；重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
- ・眼に対する重篤な損傷性又は刺激性；重篤な眼の損傷
- ・呼吸器感作性；データなし。
- ・皮膚感作性；データなし。
- ・生殖細胞変異原性(in vitro)；データなし。
- ・発がん性；データなし。
- ・生殖毒性；データなし。
- ・特定標的臓器毒性(単回ばく露)；データなし。
- ・特定標的臓器毒性(反復ばく露)；データなし。
- ・吸引性呼吸器有害性；データなし。
- ・その他の情報；データなし。
- ・成分情報；
  - <酢酸>
    - ・皮膚腐食性及び皮膚刺激性；重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

### 1 2. 環境影響情報

- ・生態毒性；
  - 水生環境有害性
    - 急性
      - (魚)；データなし。
      - (甲殻類)；データなし。
      - (藻類)；データなし。
    - 長期間
      - (魚)；データなし。
      - (甲殻類)；データなし。
- ・残留性・分解性；データなし。
- ・生体蓄積性；データなし。
- ・土壤中の移動性；データなし。
- ・PBT 評価と vPvB 評価の結果；  
本製品は、PBT 或いは vPvB に区分される化学物質を含有しない。
- ・その他の情報；データなし。

### 1 3. 廃棄上の注意

- ・残余廃棄物；  
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。又は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

本品を用いての試験後の廃液にはヒト由来検体が含まれるため、ウイルス等による感染を考慮する必要があります。本品の添付文書等を参照し、消毒等の処理後廃棄する。

・汚染容器及び包装；

容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。又は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

#### 1 4. 輸送上の注意

・国際規制

陸上規制情報

ADR・RIDの規定に従う。

海上規制情報

IMOの規定に従う。

航空規制情報

ICAO・IATAの規定に従う。

UN No.

2790

Name and description

ACETIC ACID SOLUTION, more than 10% and less than 50% acid, by mass

Class

CORROSIVE SUBSTANCES (Class 8)

Packing group

III

Marine Pollutant

Not applicable

・国内規制；

陸上規制情報

消防法、毒劇及び劇物取締法の規制に従う。

海上規則情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

国連番号

2790

品名及び内容

酢酸溶液、濃度が10質量%を超え50質量%未満のもの

クラス

腐食性物質（クラス8）

容器等級

III

海洋汚染物質

非該当

・特別安全対策；

食品や飼料と一緒に輸送しないこと。

重量物を上積みしないこと。

輸送中に容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。

容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

#### 1 5. 適用法令

<本品>

・労働安全衛生法：該当<酢酸>表示・通知義務対象物質（施行令第18条の2別表第9の176，1重量%以上）

・化管法（PRTR法）：非該当

・毒物及び劇物取締法：非該当

#### 1 6. その他の情報

・記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成されておりますが、新しい知見により改訂されることがあり、含有量、物理化学的性質、危険、有害性等に関しては、内容を保証するものではありません。

又、注意事項は通常の手扱いを対象にしたものなので、用途・用法に適した安全対策を実施した上、ご利用ください。

## 【商品一覧】

・ *E.coli* O157-F / O26-F / O111-F「生研」

商品番号	内容及び包装	SDS 整理番号	
230614	<i>E. coli</i> O157-F「生研」		
	感作ラテックス	2 mL×1本	230614(1/4)-07
	対照ラテックス	2 mL×1本	230614(1/4)-07
	陽性コントロール	1 mL×1本	230614(1/4)-07
	抽出試薬 1	5 mL×1本	230614(2/4)-07
	抽出試薬 2	5 mL×1本	230614(3/4)-07
	抽出試薬 3	5 mL×1本	230614(4/4)-07
	綿棒	60本	
	サンプルカップ	55個	
	スライド凝集反応板	30枚	
230676	<i>E. coli</i> O26-F「生研」		
	感作ラテックス	2 mL×1本	230614(1/4)-07
	対照ラテックス	2 mL×1本	230614(1/4)-07
	陽性コントロール	1 mL×1本	230614(1/4)-07
	抽出試薬 1	5 mL×1本	230614(2/4)-07
	抽出試薬 2	5 mL×1本	230614(3/4)-07
	抽出試薬 3	5 mL×1本	230614(4/4)-07
	綿棒	60本	
	サンプルカップ	55個	
	スライド凝集反応板	30枚	
230683	<i>E. coli</i> O111-F「生研」		
	感作ラテックス	2 mL×1本	230614(1/4)-07
	対照ラテックス	2 mL×1本	230614(1/4)-07
	陽性コントロール	1 mL×1本	230614(1/4)-07
	抽出試薬 1	5 mL×1本	230614(2/4)-07
	抽出試薬 2	5 mL×1本	230614(3/4)-07
	抽出試薬 3	5 mL×1本	230614(4/4)-07
	綿棒	60本	
	サンプルカップ	55個	
	スライド凝集反応板	30枚	